平成20年度 前期	火曜日・2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(日本文学および隣接する諸分野) Language and Art (Japanese Literature & adjoining fields)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	人文・社会科学科目
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 位藤邦生 / Eメールアドレス: kitoh@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: サークルセンター111 / TEL: (直通) 095-819-2311 / オフィスアワー: 随時 または メールにて			
担当教員(オムニバス科目等)	位藤邦生		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: これまでの文学研究では、作品の文学的価値の側面に評価の基準が置かれすぎていた。それぞれの時代の文学観とそれに沿った評価は大切ではあるが、文学に向かう作者の思いは一樣ではない。本授業では、歴史、思想等、文学に隣接する諸分野の状況を視野に入れながら、個々の文学作品の特質を明らかにしてゆく。 授業方法: 具体的な作品、たとえば『建礼門院右京大夫集』と『平家物語』、『増鏡』と『院御歌合』、『太平記』と『竹むきが記』等を例として、時代と文学との関係また文学作品に託された作者の思い、などを明らかにしてゆく。主に講義の形式によるが、基本的な日本語の使い方を訓練するために、討論などの方法を取り入れて授業を進める。 授業到達目標: 日本文学(主に古典)への理解を深めるとともに、隣接する諸分野への関心を高め、日本語運用能力を増進させる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 日本の古典文学の特色を、中国や欧米における文学のありかたなどと比較しながら説明し、文学の研究に隣接する諸分野の研究を援用することがいかに大切であるかに気づかせる。 第1回 文学と歴史…『万葉集』中の作品の読解を例にして、文学と歴史との関係を述べる。 第2回 文学と歴史的背景①…源平の争乱と『平家物語』 第3回 文学と歴史的背景②…『平家物語』の女性たち 第4回 文学と歴史的背景③…『建礼門院右京大夫集』の読解その1 第5回 文学と歴史的背景④…『建礼門院右京大夫集』の読解その2 第6回 歴史物語概説…『大鏡』から『増鏡』まで 第8回 歴史物語の研究①…『増鏡』と承久の乱 第9回 歴史物語の研究②…『院御歌合』の論 第10回 歴史物語の研究③…『院御歌合』の論(続) 第11回 歴史と日記①…『太平記』研究 第12回 歴史と日記②…『竹むきが記』研究その1 第13回 歴史と日記③…『竹むきが記』研究その2 第14回 まとめ①…文学と隣接諸分野 第15回 まとめ②…文学とは何か			
キーワード	文学 歴史 女性		
教科書・教材・参考書	『日本古典読本』 秋山虔・桑名靖治・鈴木日出男 編 (筑摩書房) そのほか補助プリント教材を適宜配布する。		
成績評価の方法・基準等	講義内容を十分に理解できたかどうかを確認するため、ペーパーテストを実施するとともに、日本語の運用能力を確かめるために、講義に関連する事柄を質問する。		
受講要件(履修条件)	特になし。(全員が教科書を持参すること。)		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	大学での学習の基礎となる読解力や洞察力を養う科目であるとともに、日本と日本文学についての基礎的知識を身につけさせる科目でもある。		
備考(準備学習等)	図書館を利用しての準備学習が必要となる。		